

週報

第2680地区 南淡路ロータリークラブ

Weekly Report

2021～2022年度
国際ロータリーのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

「仕事しよう みんなの
人生を豊かにするために」

RI会長
シエカール・メータ

2021～2022年度
南淡路ロータリークラブテーマ 「明日を創る」

【例会場及び事務局】 兵庫県南あわじ市福良丙317 ホテル&リゾート南淡路 / TEL: 0799-53-1889 FAX: 0799-53-1889
【例会日】 毎週金曜日 / 12:30～13:30 会長: 鹿田 淑子 幹事: 坂東 顕郎 会報委員長: 野村 将司



元会員の沖さんが卓話をしてくださいました。



第2853回例会 2021年11月26日(金)

Vol.13

「Work Life Balance」

安部 則行 会員

ロータリー財団月間

プログラム委員長/安部 則行

♪本日のソング

「日も風も星も」

第2852回 REPORT

2021年11月19日

会員総数	・・・ 31名	暫定出席率	・・・ 64.5%
出席者	・・・ 20名	前々回修正出席率	・・・ 80.7%
欠席者	・・・ 11名	例会運営委員長	村上雅信

会長の時間

会長 鹿田 淑子

本日は嬉しいことに南淡路ロータリーの顔でありました沖さんがおいで下さいました。沖さんようこそ！今日は宜しく願いいたします。後の卓話、楽しみにしております。

昨夜、沖さんが来て下さることを前に、かつての南淡路ロータリークラブ、沖さんを代表する南淡路のロータリアンの方々、そして若かりし私に想いを馳せていました。21年前女性会員がご法度のクラブが多かった時代に私は当ロータリークラブに入会させて頂きました。故、居上さんが会長の時、そして次の会長が沖さんでした。初年度は何が何だかわからないままに過ぎましたが、1年たち会長が沖さんに代わった頃には私もすっかりロータリーに慣れておりました。沖会長の会長挨拶に毎回感銘を受け、私のロータリー人生は「沖会長」から始まったのです。

当初、沖さんはいちいち戸惑う私に、大丈夫かと声をかけて下さり、私の稚拙な卓話を「うん、うん」と頷きながら真剣に聞いてくださいました。入会から3年後、私の結婚式ではスピーチをして頂きました。娘がヴァイオリンを習い始め間もない頃、ロータリーの周年大会で沖さんが演奏の機会を与えて下さり、その経験も合わさりってステージへの憧れを持った娘は「ヴァイオリニストなる。私は演奏で人を幸せにしたい。」と願う様になりました。「人の良縁になると言うことはこういうことなんだ。」と思ったことを覚えています。また沖さんは、欠席、遅刻の多い私をプログラム委員にし、出席が大切であることを促してくれました。沖さんとのエピソードは、まだまだ多くございますが、そのようなロータリーの日常の中で、私は、沖さんを追いかけて、他の大先輩たちを追いかけて、ロータリーという水の中で、その水が私の身体に浸透するように奉仕の精神が芽生え定着して行ったのです。振り返りますと沖さんを主とするロータリーの方々がいっぱい私の身近におられ、私の心が、家族や会社が自然と転換してきたことに必然すら感じております。

15年前の3分卓話で「最近、私たちはどう生きどう死んでいくか、とすることをテーマとして良く話します。」と言った時沖さんは「ほお～」と頷き私を見ました。沖さんと目が合った私は恥ずかしくて次の言葉が出なかったのですが、15年越しに、あの時言えなかった「次の言葉」を同じ場所から、私の心を育てて下さった沖さんに今日お伝えいたします。

「沖さん、私は自己保存で生通し後悔しながら死にたくはありません。私は自分の仕事を通して人の命を救い上げるような利他を生き抜きたいと願っています。」

本日は感無量でございます。



幹事報告

幹事 坂東 顕郎

【ガバナー事務所より】

○グローバル補助金申請書類の改正版が届きました。

○2022～23年度補助金セミナー案内

2021年12月12日(日) 13:00～16:50 於 神戸ポートピアホテル

○公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライト よねやま」260号受取。

【その他】

○西澤安澄クリスマスコンサートの案内。

2021年12月24日(金) 於 東京サントリーホール。

【淡路グループより】

○週報受取 洲本、津名、あわじ中央各R.C.より。



「ロータリーの思い出」

沖 俊作 元会員

皆さん今日は。今日は久しぶりに、皆さんのお元気なお姿を拝見、嬉しい限りであります。かねてから、何人かの方々から卓話の依頼を受けておったのでありますが、「大したネタもなく」とお断りをしておりました。ところが最近、再度のご依頼があり、断り続けるのも如何かと思い、今日はお邪魔させて頂きました。

退会して約4年が経つわけですが、私は今も「ロータリー大好き人間」であります。というわけで今日は皆さん方に少しでも参考になればと思い「ロータリーの思い出」というテーマでお話させて頂こうかと思っております。

私が入会したのは昭和55年、若干41歳、まだまだ青くさい未熟な年頃でありました。第18代前田勝一会長(後に計馬ガバナー年度の地区大会会長)の年度でありました。前田さんは我がクラブ切っつの弁士でありまして、私にとっては今日はどんな会長挨拶をされるのか、毎例会が楽しみでありました。

(中略)

北川さん同様に常に本音で語る久野パストガバナーは、ガバナー年度の月信に、こうしたRIの変ぼう振りをシリーズで書かれ、その何月号かに「ロータリーはついにはルビコン川を渡った」と書かれております。つまりは「不易流行」ということわざがあるが、ロータリーにとって不易のはずの「クラブ奉仕」や職業倫理の高揚を目指す「職業奉仕」が今や二の次になり、「世界社会奉仕」を最重要視する団体に楯を切ったと言われているような内容でありました。北川さんがご存命ならば、「ロータリーは今や何でもあり。只々会員数を増やし、お金による寄付団体に成り下がった」と言いそうに思えてなりません。

RIの方向性に不満や愚痴を重ねても何の解決策にも至りません。幸いにも、ロータリーは今もクラブの自主権が守られているはずです。南淡路ロータリーとして、先ほどの道を歩むべきか皆さんで語り合う絶好の機会ではないかと思うのであります。

以上、長々とすでに退会した者が口はばつたいことを申し述べましたが、今もなお「ロータリー大好き人間」の応援歌としてお受け取り頂ければ幸いです。ご静聴ありがとうございました。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました。



委員会報告

ゴルフ同好会

ニコニコ箱

鹿田会長：沖様ようこそ。また、皆さまよろしく。

坂東幹事：沖さんお久しぶりです。卓話期待してます。

沖元会員：久しぶりです、よろしく。

村上・片岡・竹谷・印部・安部・奥井・天羽・槌賀・野村・久米・榎本雅・榎本紘会員：沖様ようこそ。

坂本会員：沖さんようこそ、残念ながら早退します、よろしく。

浦瀬会員：沖さんようこそ、大谷選手のMVPを祝して。

榎本紘会員：先週欠席のお詫び。

泊 会員：昨日表彰してくれました。